

令和7年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日)

概 要	名称	公益財団法人宮崎県老人クラブ連合会		所在地	宮崎県宮崎市原町2-22 宮崎県福祉総合センター内		
	電話番号	0985-25-7800		ホームページ	http://www.mivarouren.jp/		
	設立年月日	昭和50年4月23日	代表者	会長 竹中 隆志	県所管部・課	福祉保健部 長寿介護課	
	総出資額	11,063 千円		県出資額	0 千円	県出資比率	0.0%
	設立目的	この法人は、老人クラブ活動を通じて高齢者の生きがいと健康づくりに資する活動ならびに地域を豊かにする社会活動を行い、高齢者福祉の向上と地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。					
特記事項							

内容		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
改革 工程	①公社等のあり方 見直し	適正なあり方についての 継続的な見直し	<ul style="list-style-type: none"> ①高齢者の社会参加や明るい地域づくり等重要な役割を果たしていくため、老人クラブ活動のリーダー育成に努めた。 ②地域支援事業を担う単位老人クラブへの指導の拡大を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ①高齢者の社会参加や明るい地域作り等重要な役割を果たすため、老人クラブ活動のリーダー育成に努める。 ②地域支援事業を担う単位老人クラブへの指導の拡大を図る。 	
	経営・事業 運営改善	事業内容の点検・見直し	<ul style="list-style-type: none"> ①事業運営について、理事会及び評議員会にて議論し、点検・見直しを行った。 ②市町村老連と連携し、効果的な事業運営に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ①事業運営について、理事会及び評議員会にて点検・見直しを行うとともに、若手・女性委員会を開催し、若手や女性の意見を取り入れた。 ②市町村老連と連携し、効果的な事業運営に努めた。 	
	②公社等の 経営見直し	財務改善	自主財源確保の継続的な 検討・推進	<ul style="list-style-type: none"> ①補助金の依存度が高く、自主財源が全財源の半分以下であった。 ②会員増強に取り組み、会費収入の減少幅が少なくなるように努めた。 ③予算の執行状況を見直し、より効率的な予算施行に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ①補助金の依存度が高く、自主財源が全財源の半分以下である。 ②会員増強に取り組み、会費収入の減少幅が少なくなるように努める。 ③予算の執行状況を見直し、より効率的な予算施行に努める。
	組織等適正 化	・組織適正化に向けた継続的 検討 ・県下老人クラブ会員数の 拡大	<ul style="list-style-type: none"> ①県内外を問わず、連絡会議やセミナー等に積極的に参加し、職員の能力向上に努めた。 ②市町村老連に対する助成金や会員増に成功した取組例を参考にするなど、新規会員獲得のための取組を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ①県内外を問わず、連絡会議やセミナー等に積極的に参加し、職員の能力向上に努める。 ②市町村老連に対する助成金や会員増に成功した取組例を参考にするなど、新規会員獲得のための取組を推進する。 	
	③県と 公社等の 関係見直し	人的支援見 直し	適切な支援内容の継続的 な検討	<ul style="list-style-type: none"> ①職員数は前年度同数であった。 ②組織を取り巻く環境の変化から、少人数で多くの事務量を処理する必要があり、引き続き効率的な事務遂行に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ①職員数は前年度同数であった。 ②組織を取り巻く環境の変化から、少人数で多くの事務量を処理する必要があり、引き続き効率的な事務遂行に努めた。
		財政支出見 直し	県補助金の見直し	法人の性格上、県補助金の割合が高くなるを得ないが、適切かつ効率的な執行に努めた。	法人の性格上、県補助金の割合が高くなるを得ないが、適切かつ効率的な執行に努める。

④情報公開推進	適切な情報公開の継続	①法人HPにおいて、事業概要、事業報告等の周知を図った。 ②財務状況等については、引き続き理事会、評議員会資料として、議事録を含め閲覧できる体制をとった。	①法人HPにおいて、事業概要、事業報告等の周知を図った。 ②財務状況等については、引き続き理事会、評議員会資料として、議事録を含め閲覧できる体制をとった。	①法人HPにおいて、事業概要、事業報告等の周知を図る。 ②財務状況等については、引き続き理事会、評議員会資料として、議事録を含め閲覧できる体制をとる。
---------	------------	--	--	--

	(人)	令和6年度				令和7年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	13	0	2	11	13	0	2	11
	常勤	1	0	1	0	1	0	1	0
	非常勤	12	0	1	11	12	0	1	11
	職員数	2	0	1	1	2	0	1	1
財政支出等	(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	県委託料	0	0	0	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	13,473	13,473	13,473	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	0	0	0	
	その他の県からの支援等								

事業名	事業内容	令和6年度	令和7年度	種別
		決算額(千円)	予算額(千円)	
① 宮崎県老人クラブ連合会活動推進員設置事業	公益財団法人宮崎県老人クラブ連合会が実施する老人クラブ等活動推進員設置事業に対して補助することにより、単位老人クラブ及び市町村老人クラブ連合会に対し、適切な指導、助言等を与え、高齢者の社会参加の中心母体である老人クラブ等の活動促進を図る。	8,189	8,279	補助金
② 宮崎県老人クラブ連合会支援事業	公益財団法人宮崎県老人クラブ連合会が実施する老人クラブ等活動推進員設置事業に対して補助することにより、単位老人クラブ及び市町村老人クラブ連合会に対し、適切な指導、助言等を与え、高齢者の社会参加の中心母体である老人クラブ等の活動促進を図る。	5,284	6,329	補助金
③				
④				
⑤				

実施事業	①リーダー養成事業 ③老年開発講師団派遣事業 ⑤大会の開催 ⑦「老人の日・老人週間」「全国一斉社会奉仕の日」の活動	②健康づくり事業 ④地域文化伝承事業 ⑥作品展示会事業
------	--	-----------------------------------

活動指標	指標名	算式(単位)	令和6年度			令和7年度	令和8年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
①	宮崎県さんさんクラブ大会参加人数	(人)	900	597	66.3%	900	900
②	さんさんクラブ宮崎作品展示会出品数	(点)	490	406	82.9%	490	490
③	シルバーボランティアリーダー研修会受講者数	(人)	700	530	75.7%	700	700
指標の設定に関する留意事項							

	正味財産増減計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
経常収益	17,858	17,603	17,332	資産	106,894	103,110	99,333
経常費用	19,990	21,176	20,577	流動資産	3,834	3,414	4,798
当期経常増減額	-2,132	-3,574	-3,245	固定資産	103,060	99,696	94,535
経常外収益	0	0	0	負債	226	451	143
経常外費用	227	365	153	流動負債	226	451	143
当期経常外増減額	-227	-365	-153	固定負債	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	-2,359	-3,938	-3,398	正味財産	106,668	102,659	99,190
法人税・住民税及び事業税	71	71	71	指定正味財産	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-2,430	-4,009	-3,469	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
一般正味財産期首残高	109,098	106,668	102,659	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
一般正味財産期末残高	106,668	102,659	99,190	一般正味財産	106,668	102,659	99,190
当期指定正味財産増減額	0	0	0	(うち基本財産への充当額)	10,117	10,045	9,996
指定正味財産期首残高	0	0	0	(うち特定資産への充当額)	92,943	89,651	84,539
指定正味財産期末残高	0	0	0				
正味財産期末残高	106,668	102,659	99,190				

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

指標名	算式 (単位)	令和6年度			令和7年度	令和8年度
		目標値	実績値※	達成度 (%)	目標値	目標値
① 自己収入比	(基本財産運用収入+特定資産運用収入+自己収入+自主事業収入) / 経常費用 × 100 (%)	33.0	16.2	49.1%	33.0	33.0
※ 令和6年度 実績値の算式	(40,000円+256,000円+2,832,000円+212,000円) / 20,577,000円 × 100 (%)					
②						
※ 令和6年度 実績値の算式						
③						
※ 令和6年度 実績値の算式						
指標の設定に関する留意事項						

直近の県監査の状況	
-----------	--

総合評価	公社等自己評価	市町村老連への支援を行うこと等により会員増強に努めてはいるが、定年延長や再雇用、人々の価値観の多様化などにより、60代の加入がほとんど見込めず、本県はもとより全国的に会員の高齢化・減少に歯止めがかからない状況となっており、目標値の達成は困難となっている。				県所管部課二次評価	改革工程に従い、概ね計画通りに進んでいるが、老人クラブ会員数の減少に伴う会費の減により、自己収益が減少し、自己収入比率の低下が進んでいる。常時赤字が続いているため、予算執行状況を見直し、より効率的な事業運営に努める必要がある。 県老連若手委員会や女性部部長会などの意見も取り入れながら、会員増強に成功した自治体の事例を周知するなど、会員加入促進のための方策を検討する必要がある。			
	評価 (A:良好、B:ほぼ良好、C:やや課題あり、D:課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営	評価 (A:良好、B:ほぼ良好、C:やや課題あり、D:課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営
		B	C	C	B		B	B	C	B
	目標達成度									